

上を向いて歩こう隊



指揮は水野理事長



向井院長が開会の挨拶を

あれから5年…被災地から菊地洋子さんを招いて 震災復興支援メモリアル集会

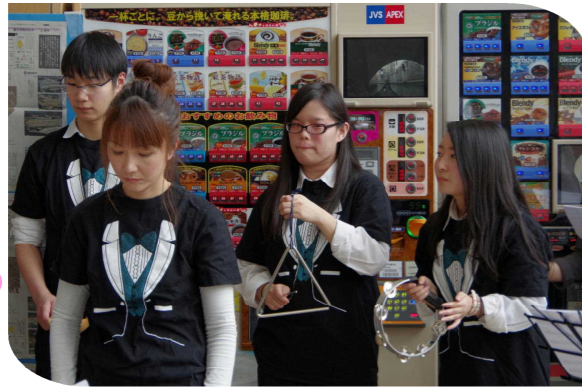


人生は紙飛行機
願いを乗せて飛んでいくよ♪

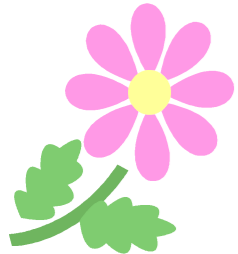
病院玄関前に被災地へのメッセージが書かれた黄色いハンカチがはためく中、やすらぎさんの「芋煮」の店が東北への想いを一層かきたてました。あれから5年、「わたしたちは忘れません」という気持ちを発信したい、防災を考える機会にしたい、原発再稼働は許せないという気持ちから2016年3月5日、5回目の「復興支援メモリアル集会」を開きました。エントランスでは、自分のこととして災害を考えようと非常食の試食会も行いました。ロビーでは、石巻の海苔やわかめ、岡田産の味噌、山元町のイチゴジャムなどの販売とバザーを開催、中央ステージで、宮城県から招いた菊地洋子さんにお話を伺いました。菊地さんは被災のようすから現在の被災地のことを地図や写真を用いて説明され、「何も持たなくてもいいからすぐに逃げる」と避難の心得を教えてくださいました。穏やかに語られていましたが、津波に巻き込まれた幼稚園の送迎バスのことなど、想像を絶する悲惨な状況もありました。「上を向いて歩こう隊」は「365日の紙飛行機」等3曲を披露、関西合唱団も「花は咲く」から山元町の歌「この町で」など美しい歌声を聴かせてくれました。被災地支援を続けている医学生の話もあり、医学生や看護学生も参加、ボランティアの組合員さんもたくさんお手伝いしていただきました。最後にみんなで「ふるさと」を合唱、東北を想う1日になりました。たくさんの方の想いが詰まった黄色いハンカチはイベント終了後、宮城県亘理郡山元町へ送りました。3月11日に各地から送られた黄色いハンカチが山元町で掲げられます。



司会は橋本社保平和委員長



看護学生も合奏に参加してくれました♪



菊地洋子さん



みやぎ県南医療生協の児玉理事も来阪

月見副事務長が
閉会の挨拶



医学生も参加。被災地支援の状況を
パネルとパワーポイントで説明



関西合唱団の歌声



主催：メモリアル集会実行委員会

